

(別紙)

## 水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H24	233	生産物一次処理施設	H26	R2	施設を利用した 年間水揚金額(ワカメ) 10,658千円	施設を利用した 年間水揚金額(ワカメ) 14,384千円	養殖ワカメの生産・出荷が順調に経過したため、水揚金額は目標を大きく上回った。 (達成率135%)	施設の整備により、ワカメのボイル塩蔵加工場が確保され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	234	水産物鮮度保持施設	H26	R2	氷・冷凍販売品による 年間販売高数量 4,766t	氷・冷凍販売品による 年間販売高数量 2,482t	サンマの水揚げ減少に伴う氷の出荷量減、サンマ及び秋サケの水揚げ減による冷凍販売品の販売量減少により、目標を下回った。 (達成率52%)	施設の整備により、氷の供給および冷凍品の仕入れ・販売が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、年間販売数量の増加に向けて指導を実施していく。
H24	240	水産物加工施設	H26	R2	養殖・天然生産物の加工数量 1,318t 塩蔵ワカメ 1,089t 塩蔵コンブ 108t とろろ昆布 13t 出し昆布 38t 諸海藻 55t アワビ 15t	養殖・天然生産物の加工数量 736t 塩蔵ワカメ 614t 塩蔵コンブ 55t とろろ昆布 10t 出し昆布 8t 諸海藻 47t アワビ 2t	ワカメ、アワビは水揚量の減少、こんぶ製品は原料となる干しこんぶの価格高騰及び販売不振から減産しており、目標を下回った。 (達成率56%)	施設の整備により、早期に養殖生産物の出荷製品製造が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、生産量の回復・増大に向け指導を実施していく。
H24	242	水産物鮮度保持施設	H26	R2	年間わかめ取扱量 30t 年間わかめ販売量 14t 年間冷凍魚販売量 40t	年間わかめ取扱量 4.5t (委託加工分あわせると56t) 年間わかめ販売量 4t 年間冷凍魚販売量 17t	達成率 ・年間わかめ取扱量15% (委託加工分あわせると187%) ・年間わかめ販売量29% 自営加工では販路が確保できなかったため取扱量・販売量が低迷。一方、ワカメの委託加工を請負い、当施設を活用している。 ・年間冷凍魚販売量43% カゴ漁業の不漁により売上が減少したため。	施設の整備により、ワカメや鮮魚の付加価値向上が図られ、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標値を下回っていることから、ワカメ製品や冷凍魚の販路開拓に向けて指導していく。
H24	243	燃油補給施設	H26	R2	年間販売量 ガソリン 146キロリットル 軽油 175キロリットル	年間販売量 ガソリン 141キロリットル 軽油 140キロリットル	概ね計画どおりの実績となり、概ね目標を達成した。 (達成率ガソリン97%、軽油80%)	施設の整備により、漁業者の給油時間が短縮されるなど、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	246	作業保管施設	H26	R2	利用者による年間生産高 (むき身カキ、殻付きカキ) 230,000千円	利用者による年間生産高 (むき身カキ、殻付きカキ) 209,297千円	計画どおりに施設は利用されており、概ね目標を達成した。 (達成率91%)	施設の整備により、作業効率、衛生環境が向上し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番 号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H24	247	燃油補給施設	H26	R2	取扱数量 10,820キロリットル (ガソリン52kℓ、潤滑油8 kℓ、A重油10,000kℓ、軽油 360kℓ、灯油400kℓ)	取扱数量 合計6,927キロリットル (ガソリン25kℓ、潤滑油3 kℓ、A重油5,479kℓ、軽油 612kℓ、灯油808kℓ)	年間を通して全ての魚種に於いて、漁況不 漁となり、A重油の供給実績が減少したた め、目標を下回った。 (達成率64%)	施設の整備により、漁業者の給油時間が短 縮され、地域の水産業の復興に大きく寄与 している。 今回は目標を下回る結果となっており、事 業実施主体に対し、更なる活用に向け目標 を達成するよう指導していく。
H24	248	燃油補給施設	H26	R2	油種取扱3種の 年間販売総量 1,387,914ℓ	油種取扱3種の 年間販売総量 1,862,923ℓ	計画を上回る販売総量となり、目標を大きく 上回った。 (達成率134%)	施設の整備により、漁業者の給油時間が短 縮されるなど、地域の水産業の復興に大き く寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H24	253	水産物荷さばき施設	H26	R2	養殖生産物の水揚量 ホタテガイ 97.7t 殻付カキ 193千粒 ワカメ 147t	養殖生産物の水揚量 ホタテガイ 145.7t 殻付カキ 34千粒 ワカメ 58t	殻付カキは、産地間競争激化及び好調なホ タテガイ養殖へのメイン種目の変更により、 目標値を下回り、その分、ホタテガイは目標 値を大きく上回った。ワカメは、当初予定し ていた着業者数の減少及び生育不良により、 目標を下回った。 (達成率 ホタテガイ149%、殻付カキ18%、 ワカメ39%)	施設の整備により、荷さばき機能が強化さ れ、地域の水産業の復興に大きく寄与して いる。 ホタテガイは目標を大きく上回る結果とな ったが、殻付カキやワカメは目標を下回る結 果となっており、事業実施主体に対し、生産 量の増大に向け指導を実施していく。
H24	254	作業保管施設	H26	R2	養殖生産物の水揚量 ホタテガイ 68.5t 殻付カキ 2,257千粒 ワカメ 27.5t	養殖生産物の水揚量 ホタテガイ 89.8t 殻付カキ 564千粒 ワカメ 2.9t	殻付カキは、産地間競争激化及び好調なホ タテガイ養殖へのメイン種目の変更により、 目標を下回り、その分、ホタテガイは目標を 大きく上回った。ワカメは、当初予定してい た着業者数の減少及び生育不良により、目 標を下回った。 (達成率 ホタテガイ131%、殻付カキ25%、 ワカメ11%)	施設の整備により、ホタテガイ等の養殖業 が再開され、地域の水産業の復興に大きく 寄与している。 ホタテガイは目標を大きく上回る結果とな ったが、殻付カキやワカメは目標を下回る結 果となっており、事業実施主体に対し、生産 量の増大に向け指導を実施していく。
H24	255	作業保管施設	H26	R2	養殖生産物の水揚量 ホタテガイ 56.5t 殻付カキ 271千粒	養殖生産物の水揚量 ホタテガイ 38.2t 殻付カキ 176千粒	ホタテガイは、夏場の高水温化によって、移 入種苗が大量斃死したため、目標を下回っ た。 殻付カキは、産地間競争が激化しており、 目標を下回った。 (達成率 ホタテガイ68%、殻付カキ65%)	施設の整備により、ホタテガイ等の養殖業 が再開され、地域の水産業の復興に大きく 寄与している。 今回ホタテガイ、殻付カキともに目標を下回 る結果となっており、事業実施主体に対し、 生産量の増大に向け指導を実施してい く。
H24	256	作業保管施設	H26	R2	養殖生産物の水揚量 ホタテガイ 97.7t 殻付カキ 193千粒 ワカメ 147t	養殖生産物の水揚量 ホタテガイ 145.7t 殻付カキ 34千粒 ワカメ 58t	殻付カキは、産地間競争激化及び好調なホ タテガイ養殖へのメイン種目の変更により、 目標を下回り、その分、ホタテガイは目標を 大きく上回った。ワカメは、当初予定してい た着業者数の減少及び生育不良により、目 標を下回った。 (達成率 ホタテガイ149%、殻付カキ18%、 ワカメ39%)	施設の整備により、ホタテガイ等の養殖業 が再開され、地域の水産業の復興に大きく 寄与している。 ホタテガイは目標を大きく上回る結果とな ったが、殻付カキやワカメは目標を下回る結 果となっており、事業実施主体に対し、生産 量の増大に向け指導を実施していく。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H24	257	作業保管施設	H26	R2	養殖生産物の水揚量 ホタテガイ 79.9t 殻付カキ 3,323千粒 ワカメ 40t	養殖生産物の水揚量 ホタテガイ 149.8t 殻付カキ 1,903千粒 ワカメ 20.3t	殻付カキは、産地間競争激化及び好調なホタテガイ養殖へのメイン種目の変更により、目標を下回り、その分、ホタテガイは目標を大きく上回った。ワカメは、当初予定していた着業者数の減少及び生育不良により、目標を下回った。 (達成率 ホタテガイ187%、殻付カキ57%、ワカメ51%)	施設の整備により、ホタテガイ等の養殖業が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 ホタテガイは目標を大きく上回る結果となったが、殻付カキやワカメは目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、生産量の増大に向け指導を実施していく。
H25	264	作業保管施設	H26	R2	水揚量 700トン	水揚量 459トン	スルメイカなど、漁船漁業における主要魚種の不漁により、目標を下回った。 (達成率66%)	施設の整備により、漁具資材等の保管が可能となり、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、指導を実施していく。
H25	265	燃油補給施設	H26	R2	燃油供給量 A重油 133,000L 軽油 50,000L ガソリン 10,000L	燃油供給量 A重油 91,330L、 軽油 81,860L、 ガソリン 2,293L	サケ、スルメイカなど主要魚種の不漁により、出漁回数が減少したため、目標を下回った。 (達成率 A重油69%、軽油164%、ガソリン23%)	施設の整備により、漁業者の給油への利便性が向上し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、更なる活用に向け指導を実施していく。
H25	266	水産物荷さばき施設	H26	R2	ワカメ 128t ホヤ 22t 一粒カキ 198千個、 ホタテ 35t アワビ 11t ウニ 6t	ワカメ 256.4t ホヤ 0t 一粒カキ 95.7千個 ホタテ 23.7t アワビ 3.2t ウニ 3.6t	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワカメは順調に養殖が行われ、目標を大きく上回った。 (達成率200%)</li> <li>ホヤは販売不振(風評被害)により、種苗の巻き込みを見送ったため、目標を大きく下回った。 (達成率0%)</li> <li>カキは生産者の廃業や、取引先の販売不振の影響により目標を大きく下回った。 (達成率48%)</li> <li>ホタテは斃死による減産のため、目標を下回った。 (達成率68%)</li> <li>アワビは震災後、資源が回復しておらず、また、資源管理面を踏まえ、R1年度から開口数1回減したことにより、目標を大きく下回った。 (達成率29%)</li> <li>ウニに関しては海藻等の繁茂状況が減少し、身入りが少ないウニが多かったため、目標値を下回った。 (達成率60%)</li> </ul>	適正に取組んでいるが、コロナ禍等による販売不振、資源変動により、ワカメ以外は目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、生産量の回復・増大に向け目標を達成するよう指導していく。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H25	267	作業保管施設	H26	R2	定置網6ヶ統保管、 ワカメ・コンブ取扱数量 370t 一粒かき取扱個数 445千個	定置網6ヶ統保管 ワカメ・コンブ取扱数量 370t 一粒かき取扱個数 270千個	①定置網 計画どおり施設での保管がされ、目標を達成した。 (達成率100%) ②ワカメ・コンブ取扱数量 ワカメ・コンブ養殖は順調に生産量を維持しており、目標を達成した。 (達成率100%) ③かき取扱個数 かき取引先で販売不振の影響のため、取扱個数が減少し、目標を下回った。 (達成率61%)	施設の整備により定置漁業の操業が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。養殖漁業は適正に取り組んでいるが、かきはコロナ禍の影響により販売不振となっていることから、かきの取扱数量回復に向け、目標を達成するよう指導していく。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業完了年度	評価年度	評価の結果			
計画年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の評価結果
					目標値	現状値		
H25	268	水産物荷さばき施設	H26	R2	ワカメ 129t コンブ 291t ホタテ 56t アワビ 20t ウニ 11t	ワカメ 381t コンブ 2t ホタテ 74t アワビ 7t ウニ 8t	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワカメに関しては種苗の巻き込み数量が増加したため、目標を大きく上回った。(達成率295%)</li> <li>・コンブに関してはワカメ養殖への養殖種目の切替により減少したため、目標を大きく下回った。(達成率1%)</li> <li>・ホタテに関しては貝毒等による出荷時期の変動により、前年出荷予定分を評価年度に出荷したことにより増加したことから、目標を大きく上回った。(達成率132%)</li> <li>・アワビに関しては震災後、資源量が回復していないため、目標を大きく下回った。(達成率35%)</li> <li>・ウニに関しては海藻等の繁茂状況が減少し、身入りが少ないウニが多かったため、目標を下回った。(達成率73%)</li> </ul>	適正に取り組んでいるが、行使者の減少、資源変動等により、コンブ、アワビは目標を下回る結果となった。事業実施主体に対し、生産量の回復・増大に向け目標を達成するよう指導していく。
H25	269	作業保管施設	H26	R2	カキ 182.5t ウニ 8.5t (白浜浦地区)	カキ 86.4t ウニ 5.4t (白浜浦地区)	高齢によるカキ行使者の減少による養殖生産量の減少と、餌不足によるウニの不漁による漁獲量の減少のため、目標を下回った。(達成率カキ47%、ウニ64%)	施設の整備により作業効率、衛生環境が向上し、地域の水産業復興に寄与しているが、行使者の減少資源変動等により目標を下回った。今後、就業者確保・育成の取組が必要である。
H25	271	水産物荷さばき施設	H26	R2	水揚量 ホタテ 350t ウニ 1.2t アワビ 10t	水揚量 ホタテ 167t ウニ 0.9t アワビ 4.5t	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホタテ 斃死による減産のため、目標を大きく下回った。(達成率48%)</li> <li>・ウニ 時化等による操業回数の減少や、餌料海藻の不足により、身入りが少なかったため目標を下回った。(達成率75%)</li> <li>・アワビ 震災の影響か資源が回復していないため、目標を大きく下回った。(達成率45%)</li> </ul>	施設の整備により、生産物の荷さばき場所が確保され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。目標値を下回っていることから、ホタテの生残率向上及びアワビ資源回復に向け指導していく
H25	272	水産物荷さばき施設	H26	R2	集荷品目の生産額 65,431千円	集荷品目の生産額 9,832千円	韓国禁輸による養殖ホヤの国内販売における価格の暴落、及び今後の資源回復を図ることを目的としたアワビ開口の取り止めにより、目標を大きく下回った。(達成率15%)	施設の整備により、生産物の荷さばき場所が確保され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。目標値を下回っていることから、アワビ資源回復及び・ホヤ付加価値向上に向け指導していく。

(別紙)

## 水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H25	273	漁船保全修理施設	H26	R2	施設利用者 35名の生産額 231,955千円	施設利用者 35名の生産額 133,987千円	養殖ホタテ貝の麻痺性貝毒の長期化による出荷規制、及び斃死による減産のため、生産額が低調だったことから、目標を下回ったもの。 (達成率58%)	施設の整備により漁船の保守、修繕体制が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。成果目標の達成のためには、ホタテの生残率向上に向けた取組が必要であることから、適切な養殖管理等について、引き続き指導していく。
H25	279	ふ化施設	H26	R2	さけ稚魚 26,000千尾の放流	さけ稚魚 13,600千尾の放流	サケ親魚の回帰率の低迷により採卵数が減少したため、目標を下回った。 (達成率52%)	施設の整備により、サケ稚魚の種苗生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回は目標を下回る結果となっており、採卵数の増加のため支援していくとともに、事業実施主体に対し、目標を達成するよう指導していく。
H25	281	漁港環境施設	H26	R2	—	—	便所の復旧により震災前と同様に利用が図られた。	施設(便所)の整備により漁業者の就労環境が向上し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。
H25	282	作業保管施設	H26	R2	ワカメ、コンブ製品の生産量 35,600kg	ワカメ、コンブ製品の生産量 23,500kg	時化等により芽落ちが起き、また、高水温等の影響で生産量が大幅に減少したため、目標を下回った。 (達成率66%)	施設の整備により、ワカメやコンブの養殖業が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、生産量の増大に向け指導を実施していく。
H25	283	漁船保全修理施設	H26	R2				
H25	286	作業保管施設	H26	R2	利用者による ワカメ、コンブ生産金額 66,589千円	利用者による ワカメ、コンブ生産金額 73,045千円	計画どおりに施設は利用されており、順調に養殖生産が行われ、目標を上回った。 (達成率110%)	施設の整備により作業効率、衛生環境が向上し、地域の水産業復興に寄与している。目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	288	作業保管施設	H26	R2	施設を利用する 漁家の水揚金額 206,446千円	施設を利用する 漁家の水揚金額 80,699千円	さんま漁獲の不漁及び、ホタテ貝毒により水揚量・水揚金額が減少したため、目標を大きく下回った。 (達成率39%)	施設の整備により、作業場及び漁具等の保管場所が確保され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。海況等の影響により目標を下回っているが、今後も有効活用されるよう指導していく。
H25	294	洗浄施設	H26	R2	ホタテ生産量 77t	ホタテ水揚数量 35.3t	貝毒の長期化及び地場採苗の不足や高水温と思われる死貝により行使者も減少したことから、目標を大きく下回った。 (達成率46%)	施設の整備により洗浄能力が向上し、ホタテガイ養殖の振興に寄与している。ホタテガイ養殖漁業は適正に取組んでいるが、貝毒による長期の出荷規制や高水温等による斃死が重なり、水揚数量が大きく減少した。販売数量の回復に向け、目標を達成するよう指導していく。

(別紙)

## 水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番 号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H25	295	漁港環境施設	H26	R2	使用者数 150人	使用者数 137人	漁港を利用する漁業世帯が利用し、概ね目標を達成した(漁業世帯数76戸×3人×3/5)。(達成率91%) ※当該地区にある5棟のうち、補助事業で整備した施設は3棟	施設の整備により、漁業者の就労環境が震災前に回復し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	296	作業保管施設	H26	R2	保管施設の 年間利用日数 365日	保管施設の 年間利用日数 365日	震災以前と同様、資材保管のため、計画どおりに利用し、目標を達成した。(達成率100%)	施設の整備により、震災前の操業形態への復旧がされたことで、地域の水産業復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	297	作業保管施設	H26	R2	年間取扱量 7t (ウニむき身とフノリ・マツモの合計)	年間取扱量 10.2トン	計画どおり施設を利用し、順調に水揚げされたことから、目標を大きく上回った。 【内訳】 ・うにむき身 5.5トン ・フノリ 4.4トン ・マツモ 0.3トン (達成率146%)	施設の整備により、作業効率が向上し、震災前の操業形態への復旧がされたことで、地域の水産業復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	298	作業保管施設	H26	R2	保管施設の年間利用日数 365日	保管施設の年間利用日数 365日	漁具の保管や補修、準備作業等で周年利用され、目標を達成した。(達成率100%)	施設の整備により、漁港機能および資材の耐用度を向上させることで、地域の水産業復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	299	作業保管施設	H26	R2	復旧販売数量 201,000kg	復旧販売数量 109,000kg	養殖わかめ原料の仕入価格の高騰により、販売数量が落込んでおり、目標を下回った。(達成率54%)	施設の整備によりワカメの養殖業が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、生産量の増大に向け指導を実施していく。
H25	300	漁船保全修理施設	H26	R2	上架のべ隻数 36隻	上架のべ隻数 34隻	施設は適切に利用しており、概ね目標を達成した。(達成率94%)	施設の整備により、漁船の保全修理が可能となり、地域の水産業の復興に大きく関与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	301	作業保管施設	H26	R2	水揚量 641t (ワカメ555t、ホタテ86t、 ウニ0.7t)	水揚量 452t (ワカメ427t、ホタテ24t、 ウニ0.9t)	若布養殖業者の減少、ホタテ貝のへい死による水揚高の減少のため、目標を下回った。(達成率 ワカメ77%、ホタテ28%、ウニ129%)	施設の整備により作業効率、衛生環境が向上し、地域の水産業復興に寄与しているが、行使者の減少、貝毒出荷規制等により目標を下回った。目標の達成に向け、今後、就業者確保・育成の取組を指導していく。

(別紙)

## 水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H25	302	作業保管施設	H26	R2	水揚量 333t (ワカメ288t、ホタテ44t、 ウニ1.1t)	水揚量 184t (ワカメ174t、ホタテ9t、ウニ1.4t)	若布養殖業者の減少、ホタテ貝のへい死による水揚高の減少のため、目標を下回った。 (達成率 ワカメ60%、ホタテ21%、ウニ127%)	施設の整備により作業効率、衛生環境が向上し、地域の水産業復興に寄与しているが、行使者の減少、貝毒出荷規制等により目標を下回った。目標の達成に向け、今後、就業者確保・育成の取組を指導していく。
H25	304	水産物鮮度保持施設	H26	R2	製氷 平均年間販売量 670トン	製氷 平均年間販売量 332トン	定置漁業の不漁により製氷の需要が低迷したため、目標を下回った。 (達成率50%)	施設の整備により養殖生産物の鮮度保持が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 成果目標を下回ったことは、サケやスルメイカ等の資源の変動減少によるものであり、やむを得ないと判断するものであるが、年間販売量の増加に向け、引き続き指導していく。
H25	305	生産物一次処理施設	H26	R2	刻みコンブの生産量 38トン	刻みコンブの生産量 30トン	先枯れとコンブの穴開きが例年より早く、また作柄(成長)も悪かったため、目標を下回った。 (達成率79%)	施設の整備により、養殖コンブの加工が可能となり、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、養殖コンブの安定的な生産について、指導を実施していく。
H25	306	ふ化施設	H26	R2	さけ稚魚 26,000千尾の放流	さけ稚魚 13,600千尾の放流	親魚の回帰率の低迷により採卵数が減少したため、目標を下回った。 (達成率52%)	施設の整備により、サケ稚魚の種苗生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回は目標を下回る結果となっており、採卵数の増加のため支援していくとともに、事業実施主体に対し、目標を達成するよう指導していく。
H25	307	作業保管施設	H26	R2	一粒カキ水揚数量 247.5千個	一粒カキ水揚数量 95.7千個	カキ取引先の販売不振の影響のため、水揚数量(出荷量)が減少し、目標を大きく下回った。 (達成率39%)	施設の整備により浄化能力が向上し、水揚数量の向上に大きく寄与している。カキ養殖漁業は適正に取り組んでいるが、コロナ禍の影響により販売不振となっており、販売数量の回復に向け、目標を達成するよう指導していく。
H25	308	漁船保全修理施設	H26	R2	上架のべ隻数 78隻	上架のべ隻数 33隻	組合員脱退により隻数が減少しているため、目標を大きく下回ったもの。 (達成率42%)	施設の整備により、漁船の保全修理が可能となり、地域の水産業の復興に大きく関与している。組合員数の減少により目標値を下回っており、今後、就業者確保・育成の取組を指導していく。
H25	309	作業保管施設 漁業研修施設	H26	R2	水揚量 126.8t (漁業用作業保管施設)、 年間利用者数 400人 (漁業研修室)	水揚量 57.6t (漁業用作業保管施設)、 年間利用者数 185人 (漁業研修室)	保管施設利用者数は変わらず利用されているが、ワカメが不漁で水揚げ量が減少したため、目標を大きく下回った。 また、研修施設については、女性部を中心に活動回数はあまり変わっていないが、組合員の減少により1回の参集人数が減少傾向にあるため、目標を大きく下回った。 (達成率 水揚量45%、利用者46%)	施設の整備により作業効率、衛生環境が向上し、地域の水産業復興に寄与しているが、行使者の減少や資源変動等により目標を下回った。今後、就業者確保・育成の取組を指導していく。

(別紙)

## 水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H25	311	養殖施設	H26	R2	生産量 75t 養殖わかめ生産量24t 養殖こんぶ生産量51t	生産量 95.8t 養殖わかめ生産量23.5t 養殖こんぶ生産量72.3t	養殖わかめ、養殖こんぶ共に順調に生育しており、目標を大きく上回った。 (達成率128%)	施設の整備により、わかめ、こんぶの養殖業が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	313	ふ化施設	H26	R2	放流尾数 17,000千尾	放流尾数 3,500千尾	親魚の河川遡上が著しく減少し、必要な数量の種卵確保が困難な状況となっており、目標を大きく下回った。 (達成率21%)	施設の整備により、サケ放流用種苗の生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対しサケ放流用種苗の安定的な生産に向け、指導を実施していく。
H25	314	ふ化施設	H26	R2	稚魚生産放流尾数 20,000千尾	稚魚生産放流尾数 3,330千尾	県全域でサケが不漁のため、親魚の確保が困難な状況となっており、目標を大きく下回った。 (達成率17%)	施設の整備により、サケ稚魚の種苗生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回は目標を下回る結果となっており、採卵数の増加のため支援していくとともに、事業実施主体に対し、目標を達成するよう指導していく。 資源変動によることからやむを得ないと判断する。
H25	315	ふ化施設	H26	R2	生産尾数 27,000千尾 シーズン中の最大使用水量 毎分 15t以上	生産尾数 13,600千尾 シーズン中の最大使用水量 毎分 15t以上	親魚の回帰率の低迷により採卵数が減少したため、目標を下回った。 (達成率50%)	施設の整備により、サケ稚魚の種苗生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回は目標を下回る結果となっており、採卵数の増加のため支援していくとともに、事業実施主体に対し、目標を達成するよう指導していく。
H25	317	水産物荷さばき施設	H26	R2	集荷品目の生産額 38,215千円	集荷品目の生産額 6,613千円	韓国禁輸による養殖ホヤの国内販売における価格の暴落、及び今後の資源回復を図ることを目的としたアワビ開口の取り止めにより、目標を大きく下回った (達成率17%)	施設の整備により、生産物の荷さばき場所が確保され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標値を下回っていることから、アワビ資源回復及び・ホヤ付加価値向上に向け指導していく。
H25	318	作業保管施設	H26	R2	大入定置及び願松定置の水揚額 340,901千円	大入定置及び願松定置の水揚額 242,524千円	サケ等主要魚種の不漁により、水揚金額が減少したため、目標を下回った。 (達成率71%)	施設の整備により、漁具等の保管場所が確保され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 主要魚種の不漁等の影響により目標を下回っており、やむを得ないものであるが、定置網漁業の作業保管施設として、今後も施設が有効に活用されるよう指導していく。
H25	320	ふ化施設	H26	R2	採卵数 14,000千粒	採卵数 6,034千粒	回帰率低迷により計画どおり親魚を確保できなかったため、採卵数が減少し、目標を大きく下回った。 (達成率43%)	施設の整備により、サケ稚魚の種苗生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回は目標を下回る結果となっており、採卵数の増加のため支援していくとともに、事業実施主体に対し、目標を達成するよう指導していく。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H25	326	養殖施設	H26	R2	ホタテガイ生産 9t	ホタテガイ生産 5t	貝毒による出荷規制により生産量が減少したため、目標値を下回った。 (達成率56%)	施設整備により早期にホタテ養殖業が再開されたことで、地域の水産業の復興に寄与している。 今回は目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、生産量の回復・増大に向け目標を達成するよう指導していく。
H25	334	養殖施設	H26	R2	養殖生産量 12t	養殖生産量 32.8t	カキ及びエゾイシカゲガイの出荷が順調に推移したため、目標を大きく上回った。 (達成率273%)	施設の整備により、養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	336	ふ化施設	H26	R2	採卵数 24,000千粒	採卵数 3,551千粒	県全域でサケが不漁のため、親魚の確保が困難な状況となっており、目標を大きく下回った。 (達成率15%)	施設の整備により、サケ稚魚の種苗生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回は目標を下回る結果となっており、採卵数の増加のため支援していくとともに、事業実施主体に対し、目標を達成するよう指導していく。 資源変動によることからやむを得ないと判断する。
H25	337	海中飼育施設	H26	R2	海中飼育放流稚魚 1,000千尾	海中飼育放流稚魚 500千尾	県全域でサケが不漁のため、親魚の確保が困難な状況となっており、海中飼育用のサケ稚魚の確保ができなかったことから、目標を下回った。 (達成率50%)	施設の整備により、サケ稚魚の健苗性が向上し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回は目標を下回る結果となっており、採卵数の増加のため支援していくとともに、事業実施主体に対し、目標を達成するよう指導していく。 資源変動によることからやむを得ないと判断する。